

2025 年 7 月号（季刊）一般社団法人日本縫製機械工業会

CONTENTS

1. 第56回定時総会開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2. 第182回理事会開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
3. 第56回定時総会後懇親会開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
4. ソーイング体験コーナーで家庭用ミシン利用普及をPR・・・・・・・・・・5
5. 第46回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集開始・・・・・・・・・・5
6. お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

1. 第56回定時総会開催

【2025年6月9日（月）、14:20～15:25 日本工業倶楽部】

当工業会の第56回定時総会を、日本工業倶楽部4階第4会議室で開催し、
下記の議案を審議・報告しました。

当日は、定時総会に先立ち、正副会長会議を開催し、定時総会の議案等について
検討しました。



美馬会長

<第56回定時総会>

議題1.	2024年度事業報告について【審議】	議題7.	共通基盤ネットワーク研究会について【報告】
議題2.	2024年度決算報告について【審議】	議題8.	若手社員向け研修について【報告】
議題3.	2025年度事業計画について【審議】	議題9.	工業会の構造改革について【報告】
議題4.	2025年度収支予算について【審議】	議題10.	今後のスケジュールについて【報告】
議題5.	任期満了による役員の選任について【審議】		
議題6.	JIAM 展について（JIAM 2024、JIAM 2028）【報告】		

<理事>

（敬称略）

	氏 名	会社名		氏 名	会社名
1	美 馬 成 望	株式会社 PEGASUS	9	佐 藤 仁	株式会社佐文工業所
2	秋 田 雅 弘（新任）	ブラザー工業株式会社	10	齋 藤 真	株式会社ジャノメ
3	成 川 敦（新任）	JUKI 株式会社	11	渡 邊 豊	株式会社 TOWA JAPAN
4	近 藤 章 吾	ヤマトミシン製造株式会社	12	大 塚 雅 之	株式会社ハシマ
5	兒 島 成 俊	株式会社 TISM	13	原 田 啓太郎	株式会社ハッピージャパン
6	廣 瀬 恭 子	株式会社広瀬製作所	<監事>		
7	山 下 龍 夫	（一社）日本縫製機械工業会	1	直 本 行 雄（新任）	直本工業株式会社
8	増 島 良 介	オルガン針株式会社	2	山 根 一 久	東日本金網工業協会

今後の主要な行事等は以下のとおりです。

会議・行事等	日時・場所	議題 他
正副会長会議	2025年10月10日（金） 12:45～14:45 ホテルグランヴィア大阪	①第183回理事会の審議・報告事項 他
第183回理事会	2025年10月10日（金） 14:30～16:30 ホテルグランヴィア大阪	①2025年度上期の事業概要について ②2025年度下期の事業について ③JAM 展について 他
正副会長会議	2026年1月21日（水） 11:30～13:00 日本工業倶楽部	①2025年度予算執行状況について ②2026年度予算について ③第46回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールについて 他
2026年新年賀詞交歓会	2026年1月21日（水） 13:30～15:00 日本工業倶楽部	①新年賀詞交歓会



2. 第182回理事会開催

2025年6月9日（月）、15時10分から第182回理事会を開催し、議案を審議しました。当日は、理事総数13名中10名が出席し過半数となり成立しました。会長、副会長等の選定、**JAM 2028** 実行委員会の設置、**JAM 2028** 実行委員長の選任及び新規入会企業についての全ての議案が承認されました。

<第182回理事会>

議題1.	会長、副会長等の選定について
議題2.	JAM 2028 について
議題3.	その他

<会長・副会長・専務理事>

(敬称略)

役職名	氏 名	会社名
会長・代表理事	美 馬 成 望 (新任)	株式会社 P E G A S U S
副 会 長	秋 田 雅 弘 (新任)	ブラザー工業株式会社
副 会 長	成 川 敦 (新任)	J U K I 株式会社
副 会 長	近 藤 章 吾	ヤマトミシン製造株式会社
副 会 長	兒 島 成 俊	株式会社 T I S M
副 会 長	廣 瀬 恭 子	株式会社広瀬製作所
業務執行理事・専務理事	山 下 龍 夫	(一社) 日本縫製機械工業会

<顧問>

(敬称略)

役職名	氏 名	会社名
名誉顧問	山 岡 建 夫	—
名誉顧問	安 井 義 博	ブラザー工業株式会社
顧 問	眞 壁 八 郎	—

<JIAM 2028 実行委員長>

兒島 成俊 株式会社 T I S M

<新規入会企業>

株式会社サンコウ電子研究所

3. 第56回定時総会後懇親会開催

第56回定時総会後に懇親会を開催し、総勢50名の出席があり盛大に執り行われました。

<美馬新会長の挨拶>

今回、私も含めて役員の改選がありました。新たにブラザー工業株式会社 執行役員 パーソナル・アンド・ホーム事業統括 秋田 雅弘様と J U K I 株式会社 代表取締役社長 成川 敦様が副会長に選定されました。また、直本工業株式会社 代表取締役社長 直本 行雄様が監事に選任されました。更に、新規会員として、株式会社サンコウ電子研究所様が入会されましたことをご報告申し上げます。新しい体制となり、新会員をお迎えできましたので、今後とも皆様からのご支援とご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

はじめに、4年間にわたり工業会会長としてご尽力いただきました内梨前会長に深い感謝と御礼を申し上げます。特に、コロナ禍でありました2022年の J I A M 展を含め2回の J I A M 展では、厳しい業界環境の中でご尽力頂き成功裡に終了し、工業会財政を立て直していただきました。心より感謝申し上げます。

現在、大阪・関西万博が開催され、子供たちに夢を与え

る様々な未来技術が体験できると聞いております。将来の日本を活気ある、またイノベーションに満ち溢れた社会に資する人材になり、当業界の担い手になっていただけることを密かに期待しております。

景気概況ですが、4月発表のIMF（国際通貨基金）によると2025年の世界のGDPの伸びは2.8%と、昨年の3.3%から減速するとしています。実効関税率が100年ぶりの水準になる中、米国の通商政策等の動向に注視する必要があります。一方で日本経済は、雇用や所得環境の改善が続いている中、物価高や人手不足があるものの、緩やかに回復しています。しかし、先行きについては、日米間の関税交渉が景気に与える影響や、物価上昇が続くことによる個人消費に及ぼす影響にも留意する必要があります。また、貿易摩擦の激化が金融資本市場にどのような影響を及ぼすかについても、一層の注意が必要です。

こうした状況の中、2024年の当工業会会員企業全体の縫製機械生産額は、残念ながら一昨年から減少し、2、

248億円となりました。今後は縫製機器で培った技術を生かし、AIやデジタル、ネットワーク関連技術の活用なども念頭において、より迅速に技術開発に取り組むことが求められています。さらに、企業運営においては、世界共通の課題であるSDGsへの対応や脱炭素への取り組みも避けて通れないと考えています。

次に、今後の当工業会の取り組みについてお話しします。1点目は、「展示会事業」についてです。**JIAM** 展は、昨年11月の **JIAM 2024 OSAKA** の成功を受けまして、**JIAM 2028** として、2028年5月に、インテックス大阪で開催することとなりました。先ほどの理事会におきまして、実行委員長に兒島副会長が選任されました。詳細な会期やテーマは今後、兒島実行委員長を中心に **JIAM 2028** 実行委員会決定する予定です。引き続き、会員や関係の皆様からのご支援・ご協力をお願いいたします。

2点目は、「家庭用ミシンを使ったソーイング普及事業」についてです。

この事業は、次世代を担う若い世代に、家庭用ミシンを使って創造性豊かな作品を作る機会を積極的に提供して、「モノづくりの喜び」、「ソーイングの楽しさ」を体験していただけるように引き続き取り組んでまいります。「ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」はその中核となる事業です。これまで45回のコンクールを実施してまいりました。本年度も既に小学校、中学校、高等学校への募集を開始しております。さらに、「3月4日はミシンの日」、「1月～3月はミシンの月」を広く周知させるべく、情報発信してまいります。

これらのことで、家庭用ミシンの利用拡大、そして繊維・アパレル業界の人材育成につながればと思います。

3点目は、「デジタル技術やネットワーク環境への対応」についてです。人手不足の解消や熟練技能の代替、生産性の向上を目指し、データ活用を引き続き進めたいと思います。そのために、「共通基盤ネットワーク研究会」の下に準備会を設置し、「生産管理コネクテッドの共通化」などの技術や課題について会員や関係者とともに検討して参ります。

4点目は、「当工業会の構造改革」についてです。当工業会は、会費収入と **JIAM** 展収入によって運営しております。将来的に、**JIAM** 展収入に依存しない財政体質への改善に向け、一般会計収支の黒字運営を目指したいと考えております。

最後に、当工業会を取り巻く環境は、大きく急激に変化しております。技術革新や制度改革に迅速に対応していきます。そのためには、会員企業間のコミュニケーションの

充実と、政府や関係諸団体との連携が重要であり、工業会の着実な運営と発展に微力ながら努力する所存でございます。関係各位の更なるご支援ご協力をお願い申し上げます。

続いて、内梨前会長から、次の挨拶があり、出席者の健康と会員の発展を祈念し、乾杯しました。

<内梨前会長乾杯挨拶>

本日の定時総会において、一般社団法人日本縫製機械工業会の会長を退任することとなりました。乾杯の前に、退任にあたり少しお話しさせていただきます。

1点目は、**JIAM** 展についてです。**JIAM 2022** と **JIAM 2024** を成功裡に終えホッとしています。特に、実行委員長をはじめ、関係の皆様のご支援・ご協力により **JIAM 2022** の財政赤字を **JIAM 2024** で取り戻すことで、工業会財政の立て直しができました。関係各位のご尽力に改めて厚く御礼申し上げます。次回は、2028年5月に開催されますが、これまで以上の **JIAM** 展となることを願っています。

2点目は、共通基盤ネットワーク研究会についてです。2018年度にスタートした研究会ですが、2023年度に（一財）機械システム振興協会様と連携し、CADとデジタルミシン間の「共通フォーマット」を策定しました。今後もデジタル、ネットワークなどの技術への対応は重要となりますので、継続して業界一丸となって取り組んで欲しいと思います。

3点目は、ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールについてです。リアルで開催された表彰式では、受賞された皆さんのきらきらした素晴らしい表情を見ながら賞状を授与できたことは貴重な体験となりました。皆様のご尽力のおかげと思っています。今後も作品コンクールを通じてミシンの体験が少しでも広がることを期待しています。

思い起こせば、副会長未経験者が会長に就任するという従来の慣行とは違う形で会長に就任しました。皆様が自由闊達に意見を出すことを通じて工業会の事業が継続したのは、皆様全員が日本の縫製機械工業の発展を強く願っていたからだと確信しています。また、2年前の総会の日、季節外れの台風が直撃し、大混乱になりながらも、急遽開催された二次会では、4人テーブルに8人が座り、文字通り親密な懇親が出来たことも楽しい思い出です。

在任中に賜りました皆様方からのご支援・ご協力に改めて感謝申し上げます。今後は美馬新会長を中心とした工業会が、さらに発展していくこととなりますが、引き続きの

ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

中締め挨拶は、**JIAM 2028** 実行委員長に選任された児島副会長が行い、盛況のうちにお開きとなりました。

その後、来賓を代表して、経済産業省 製造産業局 産業機械課 須賀 千鶴 課長にご挨拶いただきました。



美馬 成望 会長



内梨 晋介 前会長



経済産業省
須賀 千鶴 課長



児島 成俊 副会長

4. ソーイング体験コーナーで家庭用ミシン利用普及をPR

ー2025日本ホビーショーへの出展ー

家庭用ミシンに親しむ場を提供することにより、ホームソーイングの普及促進を図る目的で、2025日本ホビーショーにJASMAブースを出展しました。4月17日(木)～4月19日(土)の3日間、東京ビッグサイトで開催され、多くの来場者が訪れ大盛況の中行われました。

JASMAブースでは、第45回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールにおける経済産業大臣賞受賞作品(5点)を展示するとともに、表彰式の様子を

ビデオで、また、優秀作品は画像で来場者の皆様に紹介し、多くの方々にご覧頂きました。更に、ソーイング体験コーナーでは、家庭用ミシンメーカー4社による「ビニール生地を使った推し活ポーチ」の製作体験を行い、3日間で181名の参加がありました。女性を中心とした多くのホビー愛好家が訪れ、JASMAブースでは幅広い年代の方々にミシンを体験していただきました。



5. 第46回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集開始

全国の小・中・高校生を対象とした「第46回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」の作品を募集しています。

1. 応募部門

①小学生の部(4・5・6年生)

1)小学生作品部門

(小物・インテリア作品、衣服作品、リメイク・デコ作品、アニメ・ゲームコスチューム作品)

2)ミシンダイアリー部門

当工業会ホームページの「ミシン手作りダイアリー」(<https://jasma.or.jp/diary.html>)に掲載されているレシピを使って作った作品を対象とします。

②中学生の部及び高校生の部

- 1)小物・インテリア作品部門
- 2)衣服作品部門
- 3)リメイク・デコ作品部門
- 4)アニメ・ゲームコスチューム作品部門

応募作品、応募方法等については、ホームページに掲載の応募要領をご覧ください。

URL : <https://jasma.or.jp/home Sewing/guideline/>

3. 締 切

2025年10月31日(金)

4. 応募先・お問い合わせ先

一般社団法人日本縫製機械工業会

「第46回作品コンクール」係

E-mail : info@jasma.or.jp

2. 応募方法等

作品コンクール公式LINEの友だち追加はこちらから



6. お知らせ

＜経済産業省 製造産業局 産業機械課の人事異動＞

当工業会の担当官が異動となりました。

(敬称略)

7月1日付

(新)

(旧)

瀬野 容 章 製造産業局 産業機械課 課長補佐

資源エネルギー庁 電力・ガス事業部政策課
電力産業・市場室 室長補佐

國府田 勝 行 イノベーション・環境局/GX グループ
業務管理官室 室長補佐(総括担当)

製造産業局 産業機械課 課長補佐

吉 崎 航 介 経済産業政策局 経済社会政策室 統括係長

製造産業局 産業機械課

6月1日付

岩 本 久 美 製造産業局 産業機械課 係長

製造産業局 生活製品課 係長 日用品担当

編 集 後 記

連日猛暑が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、4月に開幕した大阪・関西万博も、会期があと1ヶ月余りとなりました。世界情勢が不透明な中、158の国・地域と7国際機関が集い、交流することは大変意義深いと思います。

建築の遅れ、虫、菌、酷暑、地下鉄のトラブルと様々な課題がありましたが、世界の最新技術や文化を楽しめると来場者からの評価も高く、盛り上がっております。万博後、テーマである“いのち輝く未来社会”が創られていくことを期待しています。

JASMA 会 報

Vol.22 No.2 2025年9月3日発行

一般社団法人日本縫製機械工業会

発行責任者:内 藤 智

〒105-0004

東京都港区新橋 5-25-3 第2一松ビル2階

Tel. 03-6435-8190 Fax. 03-6435-8192

URL <https://jasma.or.jp>

e-mail info@jasma.or.jp